



ロータス林の 7月号 わくわく通信



19年6月20日発行

7月 育

七月七日は、七夕ですね。毎年、せつかくの星祭であるにも関わらず、梅雨真っ只中で雨が多いですね。

皆さんは、七夕という言葉で連想するのはどんなことですか？七夕の夜、天の川を隔てた、わし座の一等星アルタイル（牽牛星彦星と、こと座の二等星ベガ（織女星織姫が、一年に一度だけ会うことを許された夜・・・。）。

なんだか、《遠距離恋愛》という言葉で連想してしまいますが、アルタイル星と、ベガ星、この二つの星の距離は、約16光年あって、光（光速）30万kmで走っても16年かかる距離なのだとか・・・。今年は、晴れるといいですね。

ななちゃんのおんまなみ「フラダを着た悪魔」

（某会社の神埼様、ネタの「協力」にOKの差し入れ、ありがとうございます！）

メリル・ストリープと言えば「クレイマー・クレイマー」で走り寄る息子を抱き上げる母親役で感動のラストを見せてくれ「マディソン郡の橋」では、切なく燃える女心を演じ、時には可憐で時に情熱的、時には善い母親役を演じ、見る者を惹きつけて離さない女優さんですが、この映画では、またまた違った顔を見せてくれます。

この作品でのメリル・ストリープは、世界中の女性たちに愛される一流ファッション誌、RUNWAYのオニ編集長、ミランダ役。そのそぶり、視線、歩き方、すべてにクールでさる女性のオーラがビシビシ。大女優のカンロク充分。まさにハマリ役です。チャンネル、ドルチェ&ガッパーナ、エルメスなどのブランドアイテムからも目が離せません。ぜひご覧下さい。



マゴットセラピー

皆さん、'ウジ虫治療'ってご存知ですか？「え〜〜！?!? ウジ虫？」ってカンジですよ。

ハエの幼虫であるウジ虫のことをマゴットというのですが、糖尿病などで足が壊死する「難治性潰瘍」で足を切断しなければならない人って、年間3000人にも及びます。足を切断するしか治療のない患者さんに、壊死した皮膚に、ウジ虫のついたガーゼで傷口を被い、1週間に2度新しいウジ虫に交換し、これを数週間続けると、傷口がすっかりきれいになるらしいです。



ハエの幼虫、ウジ虫が、腐敗した部分を食べ、傷口を綺麗にするとともに、幼虫の唾液から出る物質が微生物を殺す役目をして、傷の回復を早めるのだとか・・・。ちなみに、ハエの種類は 'ヒロズキンバエ' らしいです。

お札DEおりがみ『ターバン野口』の作り方

（出版社・宝島社）

「お札で遊ぶって何事だ!！」と叱られるかもしませんが、今、巷で大流行してるんですって。コピーライターの長谷川さんっていう人は、何回か折っている内にどんどんハマリ始め、会社で折り、電車でも衝動を抑えきれずに折り、まるで条件反射のように折ってしまっていたのだとか・・・。で、最初は、カレー屋さんや居酒屋さんの支払いに使っていたらしいのですが、だんだん愛着も湧き、上手になるにつれて、作品化した野口を使うことが出来ず「野口貯金」をしているのだとか・・・。お暇な方は、一度折って見られてはいかがでしょうか？楽しい野口が折れた時には、楽しいかもしれませんね。

第二生命のサラリーマン小柳

この俺に 温かいのは 便座だけ
小遣いの 値上げに欲しい 代理人
「時間よ」と 二度寝する妻 起きる俺
ここからは 魔界と思う 三次元
手品好き 上司のデスクが 消えていた
きいてない 人の話と 育毛剤

アメリカンジョーク

樂觀的なセールスマンと、悲観的なセールスマンが、アフリカの奥地に靴の営業に行った。
一週間後会社に、悲観的なセールスマンから電話がかかってきた。

「先行きは非常に暗い。」

この辺りの人々には靴を履く習慣がない。」

その直後、樂觀的なセールスマンから電話が入った

「先行きは非常に明るい。」

この辺りの人々は、まだ誰も靴を履いていない。」

カエルの殺し屋 "ツボカビ" 上陸

先日、NEWS番組をみて驚きました。

昨年6月に、神奈川県獣医学研究チームが、ツボカビに感染したウシガエルを発見して以来、ツボカビは急速に広まり、緊急事態宣言が発令されているんですって。

ツボカビは真菌の一種で、両生類の中でも特にカエルがこの菌に弱く、いったん感染すると、カエルの皮膚のケラチンというタンパク質を食べながら増殖し、カエルはやがて皮膚呼吸ができなくなって死に至るらしいです。

中南米のパナマでは、ツボカビが国内に侵入してから、僅か2ヶ月で地域のカエルが全滅したらしいですよ。カエルがもしもいなくなると、自然生態系の食物連鎖構造にも影響が出ますし、農林業への深刻な被害が予想されるらしいです。

日本は、四方を海に囲まれ、様々な病原菌から防御されていましたが、外来種の国内侵入は不気味ですね。

理奈ちゃん、事故をする・・・。

当社のお客様で、18歳、免許取立ての理奈ちゃんが事故をした。
事故の状況は「中央分離帯のある道路で、分離帯の切れ目から、中央を横切って量販店に入ろうとしたところ、ハンドルを切りすぎて、分離帯に乗り上げ乗越え、車の底がスッポリ分離帯にはまった所で、車が動かなくなった」というもの・・・。同乗していたのは、40歳前半の理奈ちゃんのお母さん。「どうしよう？林を呼ばな・・・。」と思いつながら外を見てビックリしたらしい。
パンツ見え見えのようなスカートを穿いていた理奈ちゃんが、車外に出て「どうしよう？」という素振りをしていると「どしたん？どしたん？」「いけるぞ？」「大勢で持ち上げたらいけるよ」などと、たちまち茶髪の若い衆がらう6人集まってきてくれて助けてくれたらしい。そこでお母さんが言った言葉「若いってええな。私だったら誰も止まってくれてないわ。」うん。もっともです。
理奈ちゃん、無事で良かったですね。くれぐれも気をつけてください。